

鐵と鋼 第八年 第壹號

大正十一年一月

目次

○工場委員制度の効果○製鐵業の將來○軍縮と生産業前途○製鐵業合同の急務○

○製鐵業大合同問題○製鐵大合同計畫○支那に於ける鐵及石炭○昨年の鐵市場回顧

○軍縮と米國鐵界○米國鐵板値上○歐洲鐵昂騰○歐洲の鐵埋藏量と各國製鐵業の
將來○歐米炭界並製鐵界便り○俵博士より今泉理事宛來信○俵博士より香村會長
宛來信

砂鐵に對する磁力分離實驗

菊田多利男

一九

梅津七藏

一九

抜萃

ストークス式離心鑄造物 アーサー、バツクネー

薄鐵板の可能なるべき改良壓延方法

莊内桂郎

二三

日本鐵鋼協會記事

七六

抄錄

三、燃料及驗熱 ○乾燥瓦斯發生機 八、物理及化學的性質 ○金屬の硬化は結

晶になり面の干涉に因ると云ふ學說○高溫度に於ける鋼の機械的性質に對する實驗的研究○アルミニウムの冶金性質及合金○鐵硅素の平衡曲線圖に就て○燒入したる不可逆性ニッケル鋼に於ける異常膨脹に就て一〇、工業經濟及政策 ○獨逸のアルミニウム工業の現在及未來○恐るべき印度鐵鋼業

統計

四二

刷印日三廿月一年一十正大
行發日五廿月一年一十正大
(錢五拾七金價定)

編輯人兼落合畠三郎
東京市京橋區月島通十丁目六番地
東京市神田區美土代町二丁目一番地
東京市神田區美土代町二丁目一番地
東京市芝區烏森町四番地
日本鐵鋼協會

○大正十年上半期本邦鐵產物輸出入狀況○露國に對する米國金屬製品の輸出量累
年比較○自一九一九年至一九二一年米國各種鐵鋼及銑鐵半製品の輸出量○世界四
強國の鐵鋼平均月製量○モロツコ王國に對する鐵鋼製品の輸出量○米國製鋼組合
の鑄鋼塊月製量○一九二〇年獨逸石炭產額○輸出入貨物品別表○本邦鐵及重要鐵
山產出狀況

雑録

五一